リレーショナルデータベース入門[第3版]4刷訂正

訂正箇所	誤	正
p.273↑2 行	説明したところではあるが,	説明したところではあるが(図 6.6
		は処理の流れ,図 10.6 は機能の役
		割分担からの構成図),
p.273 ↑ 1 行~	まず、ログとは何かを示すところ	まず, ログを示す.
p.274↓1 行	から始める.	
p.274 図 10.6		一部修正
p.275 ↑ 1 行	3つ組の値がデータ項目	3つ組がデータ項目
p.276↓2 行	xやyは	xやyの値は
p.276↓14,16行	厳格	厳密
p.321↓13 行	isolation)	isolation, SI)
p.321↓14~15 行	幽霊現象は排除できない ^[47] . 上記	幽霊現象は姿を変えて 書込みスキ
	の3つの現象とは異なる異状が発	ュー¹(write skew)として現れ, 読取
	生する[48].	り専用トランザクション異状も発
	スナップショット隔離性水準で	生する. 直列化可能スナップショ
	は, …	ット隔離性(serializable snapshot
		isolation, SSI)はこれらの異状の発
		生を排除し直列化可能とする
		MVCC の実装法である ^[48] . なお,
		スナップショット隔離性水準で
		は, …
p.321↓18~20 行	書きもこのスナップショットに反	削除
	映されるが、再びそれを読めるの	
	はトランザクションがそのデータ	
	に次回アクセスした時である.	
p.394↑2 行	サポート	サポート(この場合は頻度の意)

_

¹ 書込みスキューの例:銀行口座の開設は一人あたり2口座までという制約があったとする。このとき、口座増設トランザクションは、まず利用者の現在の口座数を検索し、その値が1なら口座を増設するであろう。さて、現在の口座数が1の利用者の口座増設トランザクションを2つ MVCC の下で走らせると、共に口座数の初期値は1であるから増設でき、結果として2つの新規口座が挿入されて、計3つの口座を持てたことになる。

p.395↑6行	サポート	支持度
索引	(追加)	書込みスキュー 321
	(追加)	直列化可能スナップショット隔離
		性 321
	(追加)	読取り専用トランザクション異状
		321
	(追加)	SI 321
	(追加)	SSI 321